

事業化に向けたフォローアップ調査の考え方（案）

[現状の追加試験の方法]

5. 追加試験の実施

過去に本事業において、実証機関から装置の技術実証を受け、環境省の承認を得た装置について、処理性能向上のため装置を一部改造した場合、または数年経過後における処理性能の実証のため、技術開発者及び販売店の希望により、追加の実証試験を受けることができる。（山岳トイレし尿処理技術実証試験要領（第4版）より）

[新たなフォローアップ調査の概要]

1. フォローアップの必要性

- ・ 設置後、2 - 3年後にトラブルが発生する場合が少なくない。
- ・ 維持管理方法の適正化や作業性の改善が求められている。
- ・ ランニングコストの検証を重視する必要がある。
- ・ 複数年にわたって安定的な性能を維持することが重要である。



【トータルでの管理システムの構築に向けて、継続性、維持管理性、コスト管理を強化する】

2. 調査の方法

- ・ これまでの方法で実証試験を実施した後、3年間にわたり簡易試験を行う。
- ・ 得られた3年分のデータをもとに経年的な内容も考慮し、最終判断を行う。
- ・ 良好な結果が得られた技術に対して、ゴールドロゴマークを付与する。
- ・ ゴールドロゴマークの更新期間は3年とする。

3. 調査のフロー

